

みんなのうちに
リデザイン、
まちなかも
リニューアル

岩手県民サロ
ン
vol.4
岩手県地区再整備を考える

みんなのうちにサロ

今回のテーマ
未来の盛岡ってどんなまち？



参加費無料

2023年 2月18日(土)

時間 14時～16時(開場13時30分)

会場 盛岡という星で BASE STATION

盛岡市菜園 1-8-15

パルクアベニュー・カワトク cube-II B1



Guest

南 正昭

(岩手大学理工学部 教授)

専門は、都市・交通計画学、土木計画学。岩手の復興支援、地域づくりにつながる実践的研究活動を継続しているほか、盛岡市都市計画審議会会長、盛岡市立地適正化計画検討協議会会長など、盛岡市のまちづくりに関わっている。

日本都市計画学会理事・東北支部長、一般財団法人3.11 伝承ロード推進機構理事、岩手県東日本大震災津波伝承館運営協議会会長ほかの公職も務める。



うちまるサロンについて

未来の盛岡はどうなっているといい？



内丸地区の一体再整備、50年に一度の一大プロジェクトの検討が始動しています。

内丸地区の官民関係者が一丸となって、令和4年3月には「内丸地区将来ビジョン」が策定され、令和4年度から、内丸地区再整備に向けてより具体化する（仮称）内丸プランの検討を進めています。内丸は、官庁街はもとより、金融機関や企業の本社、商業施設が立地し、県都盛岡の行政・経済の中心であり、医療機関、文化施設等の多様な機能も集積し、この地で受け継がれてきた盛岡固有の歴史・文化や自然環境等の魅力資源とともに、都市のイメージを向上させ、北東北を牽引する役割を担っています。

内丸が変わるということは、盛岡のまちなか全体が生まれ変わるということ。

そんな使命感のもと、大切にしたい視点として、「盛岡の中心で、盛岡らしさとは？次の時代に残すべきもの、新たに果たすべき役割は何だろう？」を考えながら、エリアで一体的に再生し、創造的で魅力あるまちにリデザインすべく、検討を進めています。

市民のみなさまにとっても、内丸は、県庁、市役所、裁判所（石割桜）など国庁舎、公会堂、警察署、銀行、大学病院、県民会館、テレビ局、新聞社、盛岡城跡公園、櫻山神社、中津川、さんさ踊りの中央通り…いろいろな魅力をもつ「盛岡の顔」です。

これからもずっと内丸が「盛岡の顔」であるために、『みんなにとっての盛岡らしさ、内丸、そして将来への様々な期待の声を届けてほしい！』そんな思いで市民サロンを開催します。

うちまるサロン第4回は、未来の盛岡がどのようなまちになるとよいか、話し合います。

「内丸地区将来ビジョン」の内容は、盛岡市ホームページをご覧ください。

<https://www.city.morioka.iwate.jp/shisei/machizukuri/1039029/index.html>



開催概要

時間 2023年2月18日（土）14時～16時（開場13時30分）

会場 盛岡という星で BASE STATION

（盛岡市菜園 1-8-15 パルクアベニュー・カワトク cube-II B1）

参加費無料 定員 40名（先着順）

当日の流れ ゲストによるミニレクチャー▶参加者意見交換▶アンケート
ゲストの話を聞いて内丸について、みんなで考えましょう。



申込方法

QRコードを読み込み、申込サイトにアクセス。お名前、ご住所、メールアドレスを入力してください。

当日の様子は、グラフィックレコーディングで記録して、市ホームページにて公表予定です。

今後のテーマ



主催：盛岡市

問い合わせ先：盛岡市都市整備部都市計画課

TEL 019-601-2718（ダイヤルイン）／FAX 019-637-1919（代表）
E-mail toshikeikaku@city.morioka.iwate.jp